

スペイン人 に学ぶシリーズ



フランシスコ・ザビエル 誕生の城

(休みの日に現地取材をし、教材開発に努めた)

授業名 スペイン人に学ぶ①

平成14年7月11日(木)

『ミロ “明けの明星” を楽しもう! 』

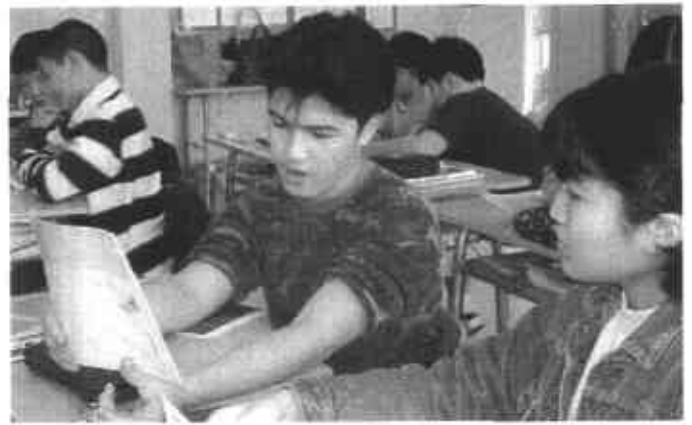
1. 本時の目標

ミロの作品「明けの明星」を自分なりに解釈することにより、ミロという人物に興味を持つ。

2. 展開

		発 問 ・ 指 示	教師の支援
導 入	5 分	1 ここは、どこでしょう？ 2 これらのミロの作品を見て、思うことを自由に言ってください。 3 ……でもね、ミロの作品には意味があるんですよ。ラ・カイシャ（銀行）のマークには、どんな意味があるか知ってる？……。	・ ミロ美術館の写真 ・ 本音が出るよう、補助発問をする。 ※君にも描ける？どこがすごい？ふざけている？等 ・ ラ・カイシャのマーク
展 開	3 5 分	4 よし、じゃあ、今日は、ミロがマジョルカで描いたという、この作品の解釈にチャレンジしてみましょう。 ①マジョルカで描いたというこの絵、どんな意味があると思いますか？ ②実は、「明けの明星」という作品で、夜が朝になる瞬間が描かれているんです。夜と朝は、どっちでしょう？ ③怪物みたいな物はいいますか？何している？どうしてそんなものを描いたのでしょうか？ ④人はいいますか？怪物に対してどうしていますか？ 5 ミロは、この絵を1940年頃、マジョルカで描きました。それでは、次の6つの言葉を用いて、この絵を説明してみましょう。 1940年 マジョルカ 朝 夜 怪物 人 6 発表してもらいます。	・ まずは、なにもヒントを与えず考えさせる。 ・ 自由に発言させ、生徒の感じたものを否定しない。 ・ 5分以上考える時間を与える。 ・ 「1940年頃、スペインでは何が起こっていたんでしょう？」と途中で問う。 ・ 前に出て、絵を示しながら発表させる。
終 末	5 分	7 先生の考えを聞いて下さい。 ・ ……これは、星座シリーズと題された絵の一部で、ミロの名を全世界に知らしめた作品です。 1936年にスペイン内戦が勃発します。ミロは、自分にはどうすることもできない弱さを感じて、絵を描くことに専念します。戦争という悲惨な現実を乗り越え、新しい世界に飛躍しようとするのです。ですから、先生は、「明けの明星」は……。 皆さんは、今度、修学旅行で、マジョルカに行きますね。 ミロがマジョルカで描いた星座シリーズ、ほかにどんな作品があるのだろう？マジョルカには、ミロのアトリエもありますよ。どんなアトリエだろう？マジョルカで、ミロを大いに楽しんで来て下さい。	・ 教師の考えを押しつけにならないよう説明する。

江の絵「明日の明星」とよみ比べ。



授業名 スペイン人に学ぶ②

平成14年9月25日

『ガウディの「魂」 ～ カサ・パトリヨから読み解く ～ 』

1. 本時の目標

カサ・パトリヨを読み解く中で、ガウディの「魂」と「偉大さ」を学び、ガウディの「人生観」や「建築物」に興味を持つ。

2. 展開

		発 問 ・ 指 示	教師の支援
導 入	5 分	1 全員起立。「ガウディのすごいところはどこですか？」答えた人から座ります。 2 バルセロナ大学教授の考えを聞いてみましょう。ビデオを見ます。 3 これもまだまだ。50点。赤坂先生の考えを聞いてください。「ガウディのすごさは、建築に精神性を持ち込んだということ。そして、その考え（心・魂）を実行したことだと思うのです」	・生徒の答えに「うーん、甘い！」と厳しく返す。
展 開	35 分	4 それでは、「カサ・パトリヨ」で、「ガウディのすごい所」を学びましょう。 「カサ・パトリヨ」には、ガウディのどういう考え（心・魂）が込められているのでしょうか？ 5 「カサ・パトリヨ」のそれぞれは、何を表しているのでしょうか？ ①屋根の瓦は？ ②ペランダは？ ③白い柱は？ ④煙突は？ 6 ガウディは、「カサ・パトリヨ」という建築物を通して何を言いたかったのだろうか？	・カサ・パトリヨの写真配布する。 ・なにも意見が出ない場合、「サンジョルディ」の話がカサ・パトリヨの中に取り入れられていることを教える。 ・途中で、2つあります、と言い、ヒント、①キ〇〇〇教②カタ〇〇〇〇と板書する。 ・スペインの歴史と、どうしてサンジョルディの話が、こうもカタラン人から人気があるのかを説明する。
終 末	5 分	7 はい、カサ・パトリヨという建築物の中に、①キリスト教を守るぞ！②カタラン人として誇りを持って生きるぞ！という考え（心・魂）を入れ込んだということ、そして、実際にその考えを実行したということが、本当にすごいと思うんです。 それでは、「サグラダファミリア」には、ガウディはどういう考え（心・魂）を入れ込んだのでしょうか？	・生徒の意見を受け容れながら、「疑問」を投げかけて、オープンエンドで終わる。

カサ・パトリオ（建築物）の写真を見て、
ふれあったガウディの心（願い）を授かる



※ 校内研究会の研究授業を行った。

授業名 スペイン人に学ぶ③ [保護者授業参観] 平成14年10月8日(火)

『“生きた、愛した”ザビエル、孤高の伝導』

1. 本時の目標

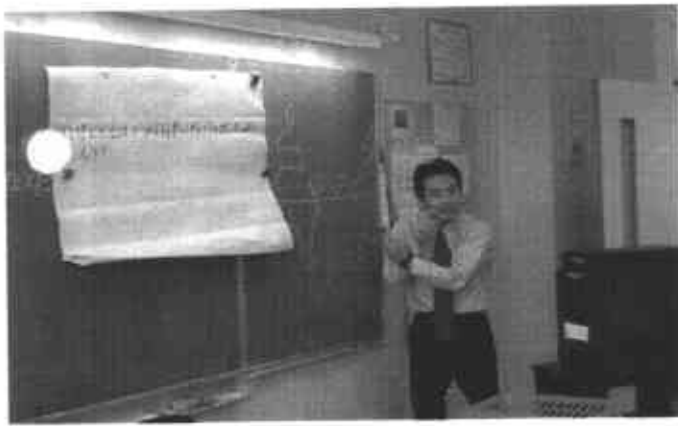
ザビエルの伝導について学ぶなかで、大航海時代のスペインと日本を理解する。

また、その時代の中でザビエルがどう生きたかを学び、ザビエルの生涯に興味を持つ。

2. 展開

		発 問 ・ 指 示	指導上の留意点
導 入	5 分	1 この写真はどこの国で撮ったでしょう？(写真①) 2 スペインのパンプローナの近くで撮ったのですが、どうしてこんな所に「YAMAGUCHI」というレストランがあるのでしょうか？	・「“YAMAGUCHI”と書いてあるよ」とヒントを出す。 ・ヒントとして、写真②を出す。 次の写真③には、「〇〇〇〇城」と書いておく。
展 開	30 分	3 それでは、教科書を読んでみましょう。 4 もっと深く学びましょう。 次の質問に答えてください。 ①ザビエルはどうして日本に行こうと思ったのでしょうか？ ②どうしてヤジローは罪を問われなかったのでしょうか？ ③ザビエルが日本で一番困ったことは何でしょうか？ ④どうしてスペインに、ウソの手紙を出したのでしょうか？ ⑤山口では、わずか2ヶ月で500人もの信者ができました。 理由は、ザビエルの人柄にあるというんですが、ザビエルはどういう人だったんでしょう？	・教科書のポイントは板書する。 ・世界地図を板書する。 地図を見ながら考えさせる。 ・発問⑤に関しては、ザビエルの言葉を、保護者の助けをかりて読みこなす中で予想するようにする。 「資料〇から予想しました。ザビエルは、～な人だったから、キリスト教信者が急増したのだと思います」という発表をさせる。 ・発問⑤のところから、保護者に、自分の子どもの横に座ってもらう。 (保護者が出席していない生徒には、教師に入ってもらおう)
終 末	10 分	5 ビデオで事実を見てみましょう。 6 ……はい、みなさんの予想の～等はあたっていましたね。 それにしても、ビデオの最後にあったように、「いまだにザビエルの人気は衰えることがない」のです。 それは、ザビエルの生涯のなかに、現代の我々が学ぶことがあるからなのですが、あなたは何かザビエルから学びましたか？ もしあったら、あとで聴かせて下さい。	・ビデオは重要な部分だけを編集しておく。8分以内。

生徒と保護者が共に学ぶ授業を行った。



お母さんと一緒に考える

感想 スペイン人に学ぶ③ [保護者授業参観]

『“生きた、愛した” ザビエル、孤高の伝導』

日 時 平成14年10月8日(火) 3校時

学 年 中学部第1学年

指導者 赤坂 雅裕

※ザビエルは、ヤジローとの出会いをきっかけに日本に来ることになった。

→自分の考えを信じて、それを人に伝えるために異国にまで渡る勇気がすごい。

布教している間も、つばをはかれても何も言わず、ふいて、続けた。

→私だったら怒るけど、ザビエルは怒らず冷静に続けている。

スペインが日本を植民地にしようとしたが、それをふせいだ。

→自分の祖国を裏切っても、日本を守る姿がすごい。

ザビエルの手紙から

→とても公平な人で、謙遜。

そういう謙遜さが日本人に受け入れられる一つの要因だったのかもしれない。

ザビエルは いろんな面で 私にいろいろ教えてくれた。(田中)

『ピカソ』 “眼光鋭きカメレオン”

1. 本時の目標

ピカソの「生涯」と「作品」に興味を持ち始める。

2. 展開

		発 問 ・ 指 示	教師の支援
導 入	5分	1 この少年、だれでしょう？（絵1） 2 それでは、この青年はだれでしょう？（絵2） 3 それでは、この人は？（絵3） …… はい、今日はピカソについて学びましょう。	・ 勉強苦手。算数大嫌いの子。 ・ 親友が自殺し、絶望のど真ん中にいます。 ・ 顔の形がユニークですね、等と解説を入れる。
	15分	4 ピカソは何歳まで生きたと思う？ …… 91歳まで生きたんですが、死ぬ直前にも自画像を描いているんです。 どんな自画像を描いたと思う？ 予想して、描いてみましょう。	・ 91歳の自画像を描くヒントとして、①絵1～3を描いた年を教える②70歳の頃のピカソの写真を一人一人に渡す、を行う。
展 開	3分	5 （お互いの絵を見あった後）実は、これなんです。	・ 見た瞬間の生徒のつぶやきを取り上げて、次の活動につなげる。
	5分	6 ピカソの91歳の時の自画像と絵1～3を見て、ピカソはどんな画家だったと思う？ 「91歳、死の直前まで……は変わっていった。変わらなかったのは、……」という発表をしてください。	・ 「目の形」と「赤い色」に着目して予想するように助言する。
	5分		・ 一人一人の予想を聴き、うなずく。
ま と め	8分	7 これらの絵を見てください。（科学と慈愛、人生、アヴィニヨンの娘たち、ゲルニカ） 皆さんが予想した通り、ピカソは、創造と破壊を繰り返した画家。一瞬たりとも同じ所に立ち止まらない。革新者であり続けた。色と形は、生涯変わり続けた。変わらなかったのは、絵画への情熱と人間を描き続けたということ。創作のエネルギーは、亡くなるまで衰えることはなかった。 （“眼光鋭きカメレオン”と板書する） この2点が、ピカソの特徴であり、偉大さであると思います。 この次は、ピカソのある作品についてくわしく勉強しますね。お楽しみに。	・ それぞれの絵の説明を、簡単に行う。 ・ 科学と慈愛：15歳で、生の輝きと死の暗黒を描ききる。。天才の原点。ピカソ以前の完璧なるピカソ。 ・ 人生：すべてをはぎ取られた者が持つ、人間の迫力が迫ってくる。青春さなかにいたピカソ自身の生きることに対する疑問と不安が伺える作品。 ・ アヴィニヨンの娘たち：だれも美しさを感じれなかったので猛反対。女性の魅力と危険性が見事に描かれている。これより、キュビズムが生まれる。



中学部1年 パソコン授業



中学部3年 ピカソ I 授業

授業名 スペイン人に学ぶ⑤

平成14年11月20日(水)

『ピカソII “命をかけた叫び ～ゲルニカ～”』

1. 本時の目標

【ゲルニカ】について学ぶ中で、ピカソの「生涯」と「作品」に興味を持つ。

2. 展開

		発 問 ・ 指 示	教師の支援
導入	5分	1 詩を読みます。何に関する詩でしょうか？ 2 ヒント、ここに関係します。 3 ヒント2, 先生が、これを買ったところで、前回勉強したピカソの作品のどれかと関係があるのです。 ・・・ はい、そうです。【ゲルニカ】を見て作られた詩でした。	・ スペインの地図を描きながら、質問し、位置を確認する。
展開	5分 5分 15分 10分 3分	4 さて、詩には、「色が消えた、音が消えた、誰も消えた」等と書かれていましたが、いったいゲルニカという街で何が起こったのでしょうか？ ・・・ ビデオで見てみましょう。 5 絵を見ながら、質問に答えてください。 ① 6 人の人が描かれていますが、男何人、女何人？ どうして女性の方が多く描かれているのでしょうか？ ② この6 人の人たちが、何か言うとしたら、何を言うのでしょうか？ ③ 馬と牛は、攻撃されているスペイン側を表しているのでしょうか？ ナチスやフランコを表しているのでしょうか？ 6 ナチス占領下、ピカソのアトリエを検閲に訪れたドイツ軍の将校が、ゲルニカを見て、嫌悪の表情で「これを描いたのはあなたか？」と質問してきました。場合によっては殺される危険もあります。ピカソは、なんと答えたと思いますか？	・ ナチスのコンドル軍団が都市を壊滅する空爆の実験としてゲルニカを爆撃。ニュースを知ったピカソが、その怒りから描きあげた作品が【ゲルニカ】であることを説明する。 ・ 6 人の状態（切り裂かれた兵士など）を説明する。 ・ 質問②は、吹き出しに予想される言葉を書き込ませることによって答えさせる。死んでいると思われる人の分も考えさせる。 ・ 全てを解釈することは難しいが、全体的には、非戦闘員をも標的とする無差別爆撃への怒りと悲慘さが表現されていることを押さえる。 ・ ナチスにとって、【ゲルニカ】は、とても都合の悪いものであったことを説明する。 ・ 教師がピカソに成りきり、「描いたのは私だ。描かせたのは、あなた方だ」と、低く強い声で言う。
終末	2分	7 この後、ピカソは殺されたのでしょうか？ ・・・ 生きていたとしたら、この後、どんな作品を残したのでしょうか？	・ 結論は出さず、オープンエンドで終わる。



中学部2年 「ゲルニカ」授業

中学部1年「ゲルニカ」授業



授業後、教室に集まる生徒

感想 スペイン人に学ぶ④⑤

『ピカソⅠ・Ⅱ “眼光鋭きカメレオン”と“ゲルニカ”』

- ピカソの絵が変わっていったのは知っていたけど、生きてる間ずっと、絵が変わり続けていたのは知らなかった。
はっきり言って、あの絵が、「ピカソの自画像です」と言われても、分からない。宇宙人??ってな感じの絵だった。

○ 眼光鋭きカメレオン・・・ピカソのすごさ4つ

- 1 小さいころから、とても絵がうまくて、子どもらしい絵が一枚もない。
このころは、目に見える人間の姿ばかり描いていた。【絵の才能】
- 2 ところが、ところが。
ここでピカソの人生が狂い出す。
親友の死や、親友の彼女との間に起こったことへの罪悪感等がピカソをキュビズムへと目を向けさせる。
このころは、目に見える人間の姿ではなく、人間らしさである「複雑さ」を絵に表した。【人間らしさを絵に表すすごさ】
- 3 ゲルニカの空襲。
命をかけて描いた絵。
ピカソの完成のすべてをぶち込んだ絵。
【すべての人を感動させるうえ、歴史事実を生々しく表すすごさ】
- 4 自分の死を目前にしたピカソ。
最後の自画像。
燃えるような髪（絵を描く情熱）。見る者を圧倒させる目（いろいろなものを見てきた目）。青白い顔（もう若くない）。
【最後の最後まで絵を描くことの情熱が消えなかった天才画家ピカソ】

ピカソはすごすぎる。（田中）

- 私が思うピカソのすごさは、①死ぬ直前まで絵が変わり続けたことです。
ピカソは死ぬまで絵を愛し続け、絵でいろんなことを表現してきました。
その一つ一つに、しっかり意味があって、スゴイなあと感じました。
- ②2つ目は、ピカソの絵に対する情熱です。
ピカソの情熱は、絵からあふれているような気がします。
自画像や他の人の絵。ほとんど全てが人物です。
人物って、表情とかとても難しいはずなのに、そこからさらに、ピカソの思いが込められている。
- ③そして最後は、「ゲルニカ」についてです。
勉強するまで、ゲルニカの中に、男や女がいたり、その人物が何を考えているかなんて、知りませんでした。
でも自分で想像したり、みんなと一緒に考えたりしていくと、ゲルニカに込められたピカソの強い思いや、ピカソ自身についてもだんだん理解できてきます。
ゲルニカに、あんなにも命をかけていたなんて、ビックリしました。

一つ一つの絵に込められた思いや、情熱のすごさ。

ピカソという人物は、すばらしい天才的な人間なんだと、驚くほど実感しました。（森）

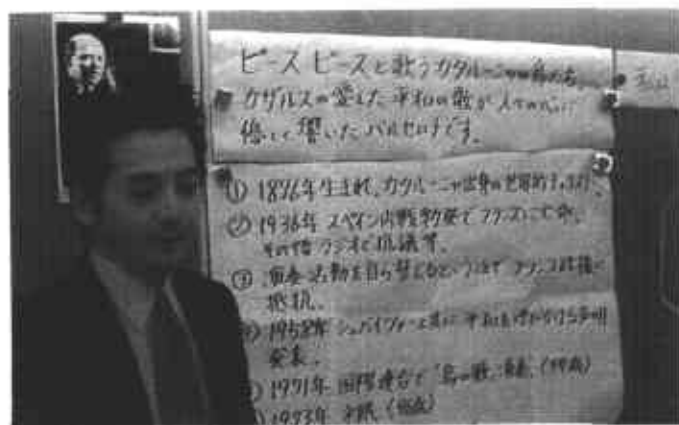
『パブロ・カザルス “鳥の歌” を聴きながら・・・』

1. 本時の目標

【パブロ・カザルス】について学ぶ中で、「本当に生きるとは？」を考える。

2. 展開

		発 問 ・ 指 示	教師の支援
導 入	5分	1 バルセロナオリンピックに関するテレビ番組で、アナウンサーが言っていました。 「ピース、ピースと歌うカタルーニャの鳥たち。カザルスの愛した平和の歌が人々の心に優しく響いたバルセロナです」 これ、どういう意味？	・ 模造紙に書いておく。 ・ カザルスの写真を出す。
展 開	11分	2 カザルスについてのビデオを見てみましょう。 先の言葉の意味がわかるかもしれません。 ・・・先の言葉を説明することができますか？	・ 「知ってるつもり」を10分程度に編集しておく。
	6分	3 確認しましょう。 ① 1876年生まれ。カタルーニャ出身の世界的チェリスト。 ② 1936年、スペイン内戦勃発で、フランスのブレードに亡命。その後、ラジオで抗議等。 ③ 演奏活動を自ら禁じるということで、フランコ政権に抵抗。 ④ 1958年、シュバイツァーと共に、平和を呼びかける共同声明発表。 ⑤ 1971年、国際連合で「鳥の歌」演奏。(94歳) ⑥ 1973年、永眠。(96歳) ⑦ 1979年、遺体、カタルーニャへ。	・ 模造紙に書いておく。 ・ スペインとフランスの地図を描きながら、説明する。
	2分	4 さて、「私は生きています。本当に生きている人は・・・」は、カザルスが90歳の時に残した有名な言葉なのですが、「・・・」にあてはまる語句を予想してください。	・ 模造紙に赤マジックで書いておく。 ・ 2～3名を指名。すぐに答えを教える。
	5分	5 カザルスにとって、“本当に生きている人”とは、どういう人のことなのでしょう？ 彼の人生から予想してみましょう。 「～を通して、～のために、～している状態の人を、カザルスは、“本当に生きている人”と考えたのではないかと思います」という発表をしてください。 ・・・友の考えを聴いて、「鋭い考えだなー」と思ったものはありましたか？等。	・ 12月5日の進路学習で東恩納校長が言われた、「生きたとは、①命があるような働きをする②そのものの価値を発揮する」を思い出させる。 ・ ①生きたお金を使う②この法律は生きている。この場合の“生きた”は、どういう意味？
	11分	※深まりのある考えが出なかった場合 「生きる」の日本語の使い方から考えてみましょうか。	
終 末	5分	6 写真を見てください。・・・ぜひ、この地を訪れてみてください。 そして、問うてください。“本当に生きるとは？”を。カザルスに。自分自身に。	・ CD「鳥の歌」を流す。 ・ バルセロナとベンドレルに残るカザルスに関する史跡を紹介する。



休み時間に入っても感想を書き綴る女生徒

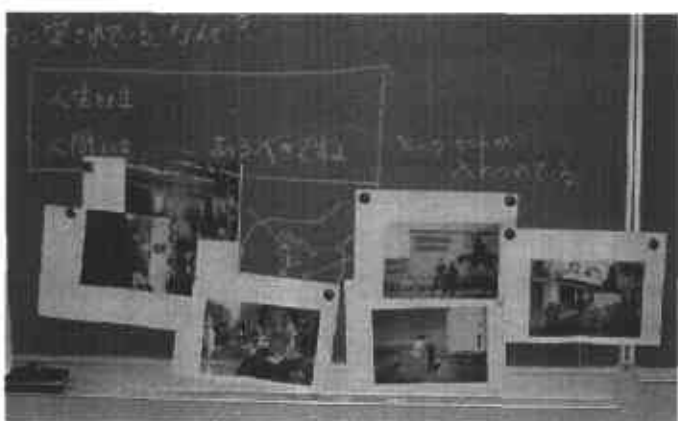
『 “ドン・キホーテ” 愛される理由 』

1. 本時の目標

【ドン・キホーテ】が愛される理由を理解する。そして、感動し、【ドン・キホーテ】を自ら読もうとする。

2. 展開

		発 問 ・ 指 示	教師の支援
導 入	5 分	1 さっ、今日はいきなりビデオ。見てください。 ・・・何のお話でした？ はい、この【ドン・キホーテ】が書かれて400年経つんですが、いまだに世界中で、読まれてるんですね。どうしてでしょう？	・ 人形劇【ドン・キホーテ】風車と闘う部分。3分。
展 開	2 分	2 ・・・【ドン・キホーテ】は、おもしろいだけではない。 このお話の中に、「人生とは？」とか「人間はどうあるべきか？」が、説かれているんです。ですから、400年経った今でも世界中で読まれ、愛されているんです。	・ 「人生とは？」「人間はどうあるべきか？」のカードを作っておく。
	20 分	3 それでは、このプリントを読んでみましょう。きっと「人生とは？」「人間はどうあるべきか？」がわかりますよ。	・ 風車と闘う部分から。小学生用の本で。プリント3枚以内。
	3 分	4 どうでした？ 人生とは何と書いてありましたか？人間はどうあるべきと書いてありましたか？	・ 発言が出ない場合、「沈黙」を楽しむ。1分待つ。
	1 0 分	5 それでは、次の問いに答えて下さい。 ①風車は、「善」ですか「悪」ですか？ ②良い武器を持っていたか？ ③一人ででも戦いましたか？ ④敗れた後、泣き言を言ったり、弱みを見せたりしましたか？家来（サンチョ）のせいになりましたか？ ⑤ぶちおられた槍をどうしましたか？ ⑥ビスカリア人との戦いは、どちらの勝ち？ ⑦その後トラブるは続きますか？ ⑧「苦難」を何ととらえていましたか？ ⑨自分自身の心に「ウソ」がありますか？ ⑩「希望」を持って生きていますか？ 【ドン・キホーテ】には、人生は何と書いてありましたか？人間はどうあるべきと書いてありましたか？	・ 模造紙に書いておく。 ・ 時間があれば、ノートに書かせる。
終 末	5 分	6 この音楽を聞いてください。何の音楽と思います？・・・これは、何の写真と思います？ ・・・【ドン・キホーテ】は、人生や人間の在り方について考えさせてくれる書、私たちに勇氣・希望を与えてくれる書。 ですから、愛されて、このように記念碑などが残されたり、今、流れている音楽なども作られるんですね。 ところで、今日読んだ【風車】の所以外には、どんなお話がのっているのでしょうか？ 今日の授業は、これで終わります。	・ CD「ドン・キホーテ」を流す。 ・ セルバンテスの家、レストランセルバンテス、ラマンチャの風景、マドリッドにある像



『 “ドン・キホーテ” 愛される理由 』

※ 今日習ったことでは、ドン・キホーテが心に残った。

僕も、サッカーで、弱音をはかない、負けても人のせいにしないようにしたい。

～ 帰りの会の発言 ～

(篠田)

※ 400年も前のお話なのに、おもしろいし人気があって、すごいと思いました。

今までスペインに住んでいたけど、読んだことがなかったので、今回少しだけ知れて良かったです。

機会があれば、全部読んでみたいなーと思いました。

ドン・キホーテは変な人に見えるけど、本当はちゃんと信念があって、それにそって生きていてカッコいいと思いました。(中村)

※ 今日、ドン・キホーテのことを知ることができてとてもよかった。

僕には、ドン・キホーテみたいな生き方はできないと思うけど、ドン・キホーテが思っていることはまねできると思う。

人は、本当に苦しいことはたくさんあるけど、それを自分の経験にしてプラスにしなければ、しょうがないと思った。

あと、苦しさの後に自分で何かを起こさなければ、幸せはやってこないとも思った。(高野)

※ ドン・キホーテは、日本でも有名で少し知っていました。

でも日本では、ドン・キホーテについて勉強したりしたことはなかったので、授業をするのは初めてでした。

なので、ドン・キホーテは、ただのバカなんじゃないということが分かりました。

ドン・キホーテの行動やそこで起こる出来事には意味がありました。

私は、ドン・キホーテが自分にウソをついていないし、希望を持っていること、そういうところにあこがれました。

ドン・キホーテの話の中に、人生や人間について書かれているとは思っていませんでした。

「人生とは、希望や勇気を持って歩むこと。人間とは、まっすぐでウソをつかず強くあるべきです」と私は考えました。

日本に帰っても、スペインについて勉強し続けていきたいです。(森)

※ 僕は初め、ドン・キホーテは「ただのバカ」だと思っていました。

でも、バカはバカでも、ただのバカではないことを知りました。

ドン・キホーテの生き方は、最も良い人間のあるべき姿を表しています。

僕もドン・キホーテの本をくわしく読んで、もっと勉強したいと思います。(駒田)

※ 赤坂先生の授業の中で一番良かったと思う。

『悪に立ち向かうのなら、悪い武器でも、一人ででも戦うべきなのだ。敗れた後には弱みを見せてはいけない。人のせいにしてもダメだ。欠点を克服しなければならない。でも、勝つときもある。苦難は神の試練。自分自身の心にウソをついてはダメだ。希望を持って生きよう』

この言葉に感動した。さすがセルバンテス。

こういうドン・キホーテを見ると、世間で「少しおかしい」と言われている人たちは、あまりにもひどいこの世の中に、しびれをきたした人たちじゃないかなって思えてくる。(世の中いいたいこともあるけど、悪いことの方が見える)

そのかわり、「普通の人」たちは、そういう悪い点が見えても、心が痛んでも、どこかで関係ないと思っている人たち。

「悪い人たち」は、何も感じないうすっぺらい人。

ドン・キホーテはよく言えば、純粹で夢があって、希望がある。

悪く言えば、理性のない、現実性のない、少しおかしい人。

どちらを強調するかは、読み手にかかっているんだよね。

現に、私たちは、授業の最初、「バカだ。少しおかしい」と発言してるしね。

BRAVO A LA LITERATURA ESPANOLA! (田中)

授業名 スペイン人に学ぶ⑧ 〈ゴヤ1〉 平成15年2月19日(水)
『ゴヤ独自の芸術世界 ～ ベラスケスと比較して ～』

1. 本時の目標

ゴヤの作品とベラスケスの作品を比較して、ゴヤの絵画史における「偉大さ」「革新性」を発見する。そして、ゴヤの作品とゴヤの生涯に関心を高める。

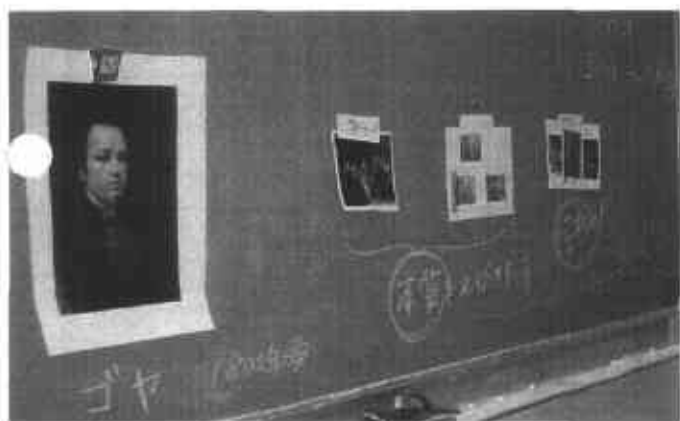
2. 展開

		発 問 ・ 指 示	教師の支援
導 入	5 分	1 スペインの偉大な画家といえは？ この人知ってる？この人は？ ・・・二人とも、世界絵画史に輝くスペインの天才画家なんですよ。 今日は、ベラスケスの作品とゴヤの作品を比べながら、ゴヤの「すごさ」を発見したいと思います。	・ベラスケスとゴヤの写真
展 開	3 分	2 まずは、これら6つの作品を見てください。 ベラスケスの作品とゴヤの作品に分けてみましょう。 ヒント、ベラスケスは1600年、ゴヤは1800年頃に活躍しました。	※ベラスケスの作品 ○ラス・メニーナス ○ブレダの開城 ○セビージャの水売り ※ゴヤの作品 ○カルロス4世とその家族 ○版画集「戦争の惨禍」より、〈なぜだろう？〉〈さらに何をすべきか？〉〈これも、また・・・〉 ○銅版画集「気まぐれ」より〈何の病気で死ぬのだろうか〉〈あるがままの姿に〉〈理性の眠りは怪物を生む〉
	2 分	3 正解は、こうです。(黒板に並べる)	
	1 0 分	4 それでは、ベラスケスの作品と見比べながら、ゴヤの作品の特徴を見つけてみましょう。 ○ラス・メニーナス→カルロス4世とその家族 ○ブレダの開城→「戦争の惨禍」 ○セビージャの水売り→「気まぐれ」	
	1 0 分	5 次の文を3つ以上作ってください。 『ベラスケスは ～ に対して、ゴヤは ～ である』	・ベラスケスの作品の解説を行う。ゴヤに関しては、ヒント程度に押さえる。
	1 0 分	6 みんなの考えを聞かせてください。	
終 末	5 分	7 ゴヤ独自の芸術世界は、①鋭い洞察力で、人間や戦争の本質を描き出そうとしたこと②訴えたいことを本当に表現するためには、ありのままの写生では限界があり、空想の力に頼る以外はないとしたこと、により開かれたのだと思います。 ゴヤ以後、芸術は自由に空想の翼を広げ始めるのです。そして、ピカソやミロにつながるのですね。 さて、この次は、ゴヤがどんな時代にどのように生き、どんな作品を残したのか、もう少し詳しくゴヤについて学びます。お楽しみに。	



中学1年「ごI」授業

授業後 本E26生徒



中学部2年「ゴヤ」授業

『 ゴヤ独自の芸術世界 ～ ベラスケスと比較して ～ 』

※ベラスケスは美しさを重視した。それに対して、ゴヤは自分の思っていることなどをメッセージにして正直に伝えようとした。

ベラスケスはポジティブな絵を描いた。それに対してゴヤはいかりや悲しみ、不調和などのネガティブな絵をたくさん描いた。

ベラスケスは現実を写した。ゴヤはロバなどを用いて見る人に考えさせた（中村）

※ベラスケスは技術の天才であるのに対して、ゴヤは想像の天才である。

ベラスケスは、“地”から世界を見ているのに対して、ゴヤは“天（神の視点）”から世界を見ている。（高野）

※ベラスケスが「鏡」であるのに対して、ゴヤは「目」である。

ベラスケスは、ある決まったことを見ている人に押しつけているのに対して、ゴヤは見ている人に考えさせて、しかも納得させる。

本当にゴヤってすごいなーと思った。

ベラスケスと比べれば、うまさではベラスケスの方が上だけど、ゴヤにはメッセージがあり、人それぞれ解釈を楽しめる。

BURRO（ロバ、愚か者）は傑作だと思った。

人間の醜い面に目を背けるのはよくないこと。

ゴヤは、その点をしっかり押さえてるね。（田中）

『ゴヤが最後に描いたもの “ボルドーのミルク売り娘” 』

1. 本時の目標

ゴヤの最後の作品が、「ボルドーのミルク売り娘」であることを知り、そのことが何を意味するのかを話し合うことによって、[ゴヤ] そのものへの関心を高める。

2. 展開

		発問・指示	教師の支援
導入	3分	1 前回勉強したゴヤ、実は、人生の半分である約40年間、あることができなかった。 何ができなかったと思いますか？	
展開	3分	2 はい、この資料から答えを探してください。 ・・・なんと40年近く音を聞くことができなかったんですね。	・ゴヤ年表を作っておく。 (黒板用・生徒用)
	15分	3 さて、次の5つは、音の無い世界で描かれたゴヤの代表作です。何を表した作品でしょう？ ・着衣のマハ(1800作) ・巨人(1808作) ・1808年5月3日(1814作) ・わが子を食うサトゥルヌス(1820作) ・ボルドーのミルク売り娘(1827作)	1746:スペイン生まれ 1789:(43歳)宮廷画家 1792:(46歳)聴力を失う 1799:(53歳)首席宮廷画家 1814:(68歳)宗教裁判所に訴えられる 1819:(73歳)聾者の家を買う 1828:(82歳)死去
	3分	4 それでは、これらの作品の中で、年表中Fの時期(死の1年前)に描かれたものはどれでしょう？理由をつけて説明してください。	・特に、「巨人」の解釈に時間を割く。
	3分	5 ・・・正解は、なんと、「ボルドーのミルク売り娘」なのです。	
	12分	6 さて、死の前年、ゴヤは、弱った目と震える指で、何を言いたくて、この作品を描いたのでしょうか？次の文章を完成させましょう。 『金と名声、宮廷世界、戦争の惨禍、そして孤独。人間の心の闇と欲望を直視続けたゴヤが、人生の最後に、ボルドーのミルク売り娘に・・・を見た。』	・途中で、「ボルドーのミルク売り娘」を見るヒントとして[描く画家の視点][皮膚の露出度][手が描かれていないこと][光]を指摘する。 ・他の4つの作品も参考にすることを言う。
終末	5分	7 [AUN APRENDO] どういう意味？ ゴヤは、フエンデトドスで生まれ、・・・78歳でボルドーに逃れます。 そして、そこでも新しい絵画に挑戦し始めるのです。その作品に記された言葉がこれ。 [それでも、私は学ぶ] そして、その学びの結果、最後に描かれた絵が、「ボルドーのミルク売り娘」。 きっと、人間の心の闇と欲望を直視しつづけたゴヤが、田舎のミルク売り娘に「聖母マリア」を見いだしたのですね。 ・・・本当のところはどうなんだろう？	・カードに書いておく。 ・地図を用いて、ゴヤの波瀾に満ちた生涯を復習する。



授業後、「ボルドーのミルク売り娘」以外の
作品を見る生徒

『ゴヤが最後に描いたもの “ボルドーのミルク売り娘” 』

日 時 平成15年3月3日(月)2校時
学 年 中学部第3学年
指導者 赤坂 雅裕

- ゴヤの力は、画家としての力ではなく、人間の器のデカさだと思った。
一番すごい画家として認められたのに、「真実」を描き続けていたし、耳が聞こえないのに、ハンデがあるのに、生き続けるのはすごい。(高野)

- 王様の機嫌をとって、いい絵を描き続けていれば、一生楽な生活ができたのに、自分の今の現状に満足しないで描きたい絵を描いていったのがスゴイと思った。
自分の意志を貫くのは大変だけど、大切なことだと思った。(石川)

- 今日、詳しくゴヤのことを学んで、初めて知った点は、
 - ① 40代から聴覚を失ってしまったこと
 - ② 「裸のマハ」などの絵を描いて、宗教裁判にかけられたこと。
 - ③ 死の前年、「ボルドーのミルク売り娘」を描いたこと。その娘を、ゴヤは、聖母マリアのように見ていること。
美術館で見たときよりも、絵の詳しいことがわかって、非常に興味を持てた(前田)

- 先生の授業の後、ポツーンと考えていたら、いろんな考えがでてきた。
「ボルドーのミルク売り」手が描かれていないのは、いいことも醜いこともする手をこの絵では、見せたくなかったから。この女の目線で、まるで何かを見つめているみたい。この女の人の目のあたりに、ゴヤの手が震えてうまくぬれなかったところがある。
「着衣のマハ・裸のマハ」よく見てみると・・・
考えれば考えるほど、すごいゴヤ！
来年は一つ一つの絵を深く調べて、レポートにしてみたいな。(田中)

- ゴヤについての2度目の授業は、前とは違ったゴヤを学べて良かったです。
この世のありとあらゆるものを見て、批判する絵をたくさん描いたけど、最後に「最高のもの」を見いだせて、すごいと思いました。
78歳を過ぎてから、「AUN APREND」と言って、学び続けることもすごいと思いました。
僕も70歳を過ぎてからも学ぶことができるのかなあ。(駒田)

- 王様に認められたのもすごいと思ったけど、聴力を失ってからも、本質を見いだして、空想をまじえて絵を描き続けているのがすごいと思った。
ゴヤの言葉で、「それでも学ぶ」というのは、ピカソの最後の絵のように、「まだまだ人は勉強できる」というふうに感じました。(渡辺)

- ゴヤが耳が聞こえなくなったなんて知りませんでした。
ゴヤの絵は、黒かったり、皮肉った絵だったり、明るくきれいだったり、力強かったりしています。
でも、それが全部「うそ」でないのがすごいのです。
人は、そういう真実を受け入れるべきだと思いました。
ゴヤの絵には一つ一つ伝えるものがあります。意味の深い絵が描けるゴヤは、すごいです。
最後に描いた「ミルク売り娘」を聖母マリアと思ったなんて。それだけゴヤは、天に近かったのかな？
真実を見抜けるようになりたいと思いました。(森)